# 北東アジア農政研究フォーラム第12回国際シンポジウム・プログラム

１．開催日時　　2017年10月12日(木) 10:00～17:00　(9:30受付開始)

２．開催場所　　さいたま新都心合同庁舎２号館５階 中研修室５B
（埼玉県さいたま市中央区新都心２－１）

３．テ ー マ　　農村地域の活性化 ～地方創生に向けて～

４．内　　容

北東アジア地域（日本・中国・韓国）は自然的・社会的・文化的に多くの共通点が見られ、経済がグローバル化する中で、食料・農業・農村問題にも類似の課題が存在します。こうしたことを踏まえ、農林水産政策研究所は、中国農業科学院農業経済発展研究所及び韓国農村経済研究院とともに、北東アジア農政研究フォーラムを平成15年に設立し、研究活動の連携を図っています。この活動の一環として、統一テーマを設定して最新の研究成果を報告・討議する国際シンポジウムを、３機関の持ち回りにより、ほぼ年１回のペースで開催しています。

第12回となる今回のシンポジウムは「農村地域の活性化」をテーマに掲げ、さいたま市において開催します。我が国においては、人口減少・高齢化が進んでいく中で、東京への一極集中、大都市と地方の間の様々な格差などの問題があり、地方の活力を取り戻すことが重要な政策課題となっています。地方の活性化には農業の振興が重要なカギとなりますが、同様の問題を抱える中国・韓国の研究者を迎え、「農業・農村の構造変化と担い手問題」及び「農産物のマーケティング」の観点から、農村地域の活性化について、３か国でともに考えます。

５．プログラム　（言語：日本語・中国語・韓国語の同時通訳）

10:00～10:15　開会式
10:15～11:30　セッションⅠ　農業・農村の構造変化と担い手問題
　中国における農民の分化と農業サービスの発展　　钱 静 斐（中国）
　近年における都府県大規模水田作農家の動向とその特徴
　　－農業センサス分析からの接近－　　平林光幸（日本）
　農村地域社会における家族農業経営の多元的な経済活動　　柳 讚 熙（韓国）
11:30～11:40　（休憩）
11:40～12:40　セッションⅠの討議　　任 爱 胜（中国）、斉藤由理子（日本）、李 龍 善（韓国）
12:40～14:20　（昼食休憩）
14:20～15:35　セッションⅡ　農産物のマーケティング
　農業マーケティングとその環境における変化　　朴 晟 鎭（韓国）
　地域ブランド産品に係るマーケティング研究
　　－鹿児島県産黒豚を対象として－　　八木浩平（日本）
　農業貿易のコストと地域貿易の成長　　贾　　伟（中国）
15:35～15:45　（休憩）
15:45～16:45　セッションⅡの討議　　全 昌 坤（韓国）、池川真里亜（日本）、刘 合 光（中国）
16:45～17:00　閉会式

６．主　　催　　農林水産政策研究所、中国農業科学院農業経済発展研究所、韓国農村経済研究院

７．協　　力　　株式会社農林中金総合研究所

８．定　　員　　100人（参加費無料）